

## 研究課題名「直腸癌術前化学療法に対するリンパ節の病理学的奏功の意義」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2008年から2018年に、直腸癌術前化学療法施行後に根治切除を行った101例の「感」者さん。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

直腸癌に対する世界的な標準治療は術前化学放射線療法と外科的切除です。しかし、近年では患者の病状や希望を考慮した術前の集学的治療戦略が普及しており、当科では集学的治療戦略として、世界に先駆けて放射線照射を併用しない術前化学療法に取り組み、その短期および長期成績を報告してきました。現在、直腸癌に対する放射線照射を併用しない術前化学療法は術前集学的治療戦略の重要な選択肢の一つと認識されるようになりました。

標準治療である術前化学放射線療法においては、リンパ節転移が病理学的に消失すると元々リンパ節転移がない症例と同等の予後が得られること、転移消失に至らない病理学的奏功は有意な予後延長効果をもたらさないことなどが報告されており、実臨床において術後治療戦略決定時の参考にされています。しかし、放射線照射を伴わない術前化学療法に対するリンパ節の病理学的奏功が長期予後に与える影響は未だ明らかではありません。

本研究では、上記対象症例の臨床情報を後ろ向きに解析し、直腸癌術前化学療法に対するリンパ節の病理学的奏功が長期予後に与える影響について検討します。

研究期間は当院の生命倫理審査委員会の実施承認後から2021年12月31日までを予定しております。。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：既往歴、術前治療前後の情報、手術記録、病理組織検査所見、術後合併症の発生状況、術後経過、カルテ番号 等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学大学院医学系研究科 腫瘍外科学

住所：名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

電話番号：052-741-2222

研究責任者：名古屋大学医学部附属病院 消化器外科 1 上原 圭